

## 水ノ塔山・籠ノ登山山行報告

**【山行日】**2016年7月10日(日) 晴れ  
**【集 合】**栃木市運動公園P AM 5:00  
**【費 用】**マイカー2台 : 3,300円  
**【メンバー】**CL:鈴木ユ、岩淵、大西、香川、  
梶内、島田、鈴木ヤ、福田、藤原、松館、渡辺  
**【コースタイム】**栃木市運動公園P5:00=高峰温泉  
P7:05/7:20~水ノ塔山 8:40~東籠ノ登山 9:30  
~西籠ノ登山 10:00~東籠ノ塔山 10:40~兔平  
11:15/11:50~見晴岳 12:30~池の平 13:10/13:25  
~高峰温泉 P14:00=岩舟支所 P17:00



比較的楽に展望の山頂を3座踏め、コマクサやヒオウギアヤメ等のお花を楽しめる水ノ塔・籠ノ登



山から池の平を巡るコースを計画した。佐野藤岡 IC から東北道に入り、北関東道、関越道、上信越道と乗り継ぎ小諸 IC で降りて高峰温泉を目指す。高速道がつながったお蔭で、2時間で高峰温泉まで来られるようになった。温泉手前の登山者用駐車場に車を止め、トイレとストレッチを済ませ出発する。2日前まで雨の天気予報で、決行するか悩んだが、前日の予報で好天に変わり青空の下、気持ちよく歩くことが出来る。

温泉宿の前から道標に従って、カラマツ林の中水ノ塔山をめざし登って行く。やがて岩だらけの展望の良い広場に出て、ここがうぐいす展望台。小休止し衣服調整して、水分を補給する。右手に日光連山や上越の山々を望みながら、砂礫の道を登り高度を上げて行く。大岩の間を縫う



ようになると、左手に北アルプスや富士山が見えるようになり、まもなく水ノ塔山の山頂に着く。展望を楽しみながらトマトをいただき、北アルプスの山座同定をする。

ここから籠ノ登山へは、赤ゾレと呼ばれる崩壊地の縁を歩いて行く。針葉樹林の根や岩で歩きにくい道を進み、急な登りを頑張ると籠ノ





登山山頂に着く。山頂は広く一等三角点が置かれ、360度の大展望が広がっている。記念写真を撮り、山頂の一角で休憩し北アルプスの大展望を楽しむ。このまま下山するのは物足りないので、目の前に見える西籠ノ登山をピストンすることにする。

山頂からザレた道を西に下り、鞍部から一登りで西籠ノ登山山頂に着く。山頂は狭く標識があるだけで、眺望も余り良くない。山頂から西に少し下ると展望が開け、北ア

ルプスの好展望台になっている。展望を楽しんだら来た道を籠ノ登山まで戻る。山頂からは、眼下に見える兎平の駐車場に向かって降りて行く。

岩がゴロゴロし歩きにくい登山道を下り、すぐにカラマツ林の中を下るようになる。

傾斜が緩やかになると、まもなく林道に出て兎平駐



車

場に着く。トイレを済ませ、池ノ平への分岐に建つ東屋でランチタイムとする。今日も定番の天ぷら入りキノコうどんに出汁巻き卵、カボチャの煮つけやインゲンの胡麻和えと御馳走が並ぶ。ベンチに腰かけ、ゆっくりランチを楽しむことが出来た。ランチを楽しんだら、東屋の脇から見晴岳への道を登って行く。道の両脇にはヒオウギアヤメやハクサンフウロ、ゲンナイフウロの花が咲き歓声が上がる。左手の斜面にヒオウギアヤメの群落が広がり、そ



の下に池ノ平の湿原が一望できる絶景に皆大満足。雷の丘広場からは北アルプスも望め、その先の雲上の丘広場では大勢のハイカーが絶景を見ながらランチを楽しんでいた。ここから見晴コマクサ園までは、雲上のお花畑を歩くパラダイス。

三方ヶ峰まで行く予定だったが、疲れた様子なので池ノ平湿原へ降りる道を進む。湿原の木道をのんびり歩き、兎平の分岐まで戻り休憩する。

スイカやオレンジを食べて喉を潤し、疲れを癒してから高峰温泉へ向かう。最後は林道歩きとなり、体力が余った強者は猛スピードで歩いて行く。我々はのんびりおしゃべりしながら歩き、30分ほどで登山口の高峰温泉に着いた。トイレを済ませ、登山靴を履きかえて帰路につく。

途中横川 SA に寄ってお土産を買い、予定よりも早く岩舟支所へ帰着出来た。

